



略歴

- 1、氏名 志田 利とおる
- 2、生年月日 昭和九年八月一日
- 3、本籍地 静岡県静岡市春日二丁目六
- 4、現住所 静岡県静岡市春日二丁目六ノ四〇二

○、学歴

- 昭和二十七年四月 日本社会事業短期大学入学
- 昭和二十九年三月 同校卒業
- 昭和三十四年四月 日本社会事業大学社会福祉学部社会事業学科編入学
- 昭和三十六年三月 同校卒業

○、主な資格

- 社会福祉士（平成元年登録番号二一）
- 介護支援専門員（平成十二年登録番号一四四五号）

○、主な賞罰

静岡県知事表彰（平成元年十一月）

静岡県調停協会会長表彰（平成十五年十一月）

○、職歴

昭和二十九年四月～三十四年三月 山形県社会福祉協議会勤務

昭和三十六年四月～四十年三月 静岡県沼津児童相談所勤務

付・静岡県ソーシャルワーカー協会設立にかかわり月例研究会を開く

昭和四十年四月～五十年三月 静岡県民生部社会課・社会福祉主事

付・福祉教育研究普及校を新規事業として提案採決され実践、後全国にひろがった学校における福祉教育の先

駆となる

昭和五十年四月～五十三年三月 静岡県生活環境部広報課県民相談係長

昭和五十三年四月～五十六年三月 静岡県民生部社会課社会係長

付・静岡県庁内研究会「明日の福祉を考える会」主宰月例研究会を開く

昭和五十六年四月～五十九年三月 静岡県民生部部付主幹

付・静岡福祉史研究会「静岡の福祉を創った人々刊行会」幹事となり毎年人物志を刊行する

昭和五十九年四月～六十一年三月 静岡県民生部障害福祉課・課長補佐

付・静岡県ソーシャルワーカー協会再建にかかわり世話人となり月例研究会を開き研究誌を刊行する

昭和六十一年四月～平成元年三月 静岡県東部児童相談所・所長

付・東京での国際社会福祉会議に参加し静岡県地方集会開催につなげる

平成元年四月～二年三月 静岡県民生部児童課参事

平成二年四月～三年三月 静岡県高齢者総合相談センター・所長

平成三年四月～四年三月 静岡県中央児童相談所・所長

平成四年四月～五年三月 静岡県民生部児童課・課長

平成五年四月～九年三月 特別養護老人ホーム聖ヨゼフの園・施設長

平成五年四月～現在 常葉学園短期大学保育学科・非常勤講師・児童福祉論担当

平成七年四月～十一年三月 身延山大学仏教学部仏教学科・非常勤講師・仏教実践研究担当

平成十年四月～十一年三月 浜松医科大学医学部看護学科・非常勤講師・社会福祉論担当

平成十年四月～現在 静岡大学人文学部・非常勤講師・高齢者介護論担当

平成十一年四月～現在 身延山大学仏教学部仏教学科・教授・社会福祉原論等担当

平成十四年四月～現在 身延山大学図書館・館長

○、学会及び社会活動

昭和五十四年四月～六十一年三月 静岡県庁内研究会「明日の福祉を考える会」・主宰

昭和五十六年五月～平成二年三月 静岡福祉史研究会「静岡の福祉を創った人々刊行会」幹事

昭和五十九年四月～現在 静岡県ソーシャルワーカー協会・世話人

昭和五十九年四月～現在 静岡家族問題研究会・会員

昭和六十二年四月～現在

日本地域福祉学会・会員

日本社会事業大学社会福祉学会・会員

平成五年四月～八年三月

静岡ノウマラゼーション研究会・会員

平成五年五月～十年三月

企業の社会貢献活動研究会・会員

平成五年四月～現在

社会福祉法人聖母福祉会・理事

平成五年四月～九年三月

静岡県老人福祉施設協議会・理事

平成五年四月～九年三月

静岡市老人福祉施設長連絡会・事務局長

平成五年五月～現在

社会福祉法人聖隷福祉事業団・評議員

社会福祉法人愛育会・理事

平成五年五月～十二年五月

静岡県社会福祉士会・会長

平成六年一月～十二年六月

社団法人日本社会福祉士会・理事

平成八年四月～十年三月

静岡県精神医療審査会・委員

平成八年四月～十二年五月

静岡県社会福祉人材センター運営委員会・委員

平成八年四月～十一年三月

静岡県高令者ケアサービス体制整備検討委員会・委員

平成八年四月～現在

静岡市高令者サービス調整会議・委員

静岡家庭裁判所調停委員会・委員

平成九年八月～現在

静岡県介護実習普及センター運営委員会・委員長

平成十年四月～十二年五月

静岡県家庭教育学会・理事

平成十年四月～十二年三月
静岡市介護保険事業計画策定懇話会・委員

平成十二年四月～十四年三月
静岡県国民健康保険団体連合会介護サービス苦情処理委員会・委員

静岡市地域ケア会議・委員

平成十二年六月～現在
静岡市介護保険運営協議会・委員

静岡県社会福祉士会・顧問

静岡県社会福祉協議会地域福祉権利擁護センター運営適正化委員選考委員会・

委員長

社団法人静岡県病院協会・理事

平成十五年四月～現在
静岡市保健福祉総合政策懇話会・委員

静岡市社会福祉審議会・委員

静岡市社会福祉協議会福祉サービス苦情処理委員会・委員

社会福祉法人静岡福祉事業協会・監事

平成十六年四月～現在
静岡県社会福祉協議会企画調査委員会・委員

静岡県社会福祉協議会専門委員会・委員

財団法人静岡県福祉事業共済会・理事

静岡県肢体不自由児協会・監事

研究業績

著書

「静岡県社会福祉の歩み」共著（平成元年三月 静岡県刊）

「静岡県歴史人物辞典」共著（平成三年十月 静岡新聞社刊）

「跡導Ⅱ静岡の福祉をつくった人々」共著（平成四年三月 静岡県社会福祉協議会刊）

「社会福祉に生きる」単著（平成五年七月 自費出版）

「静岡県身体障害者福祉会五十年史」共著（平成十五年 静岡県身体障害者福祉会刊）

「静岡県福祉事業共済会史」共著（平成十五年 静岡県福祉事業共済会刊）

「仏教と社会福祉」単著（平成十七年 平楽寺書店刊）

研究論文等

○、静岡の福祉を創った人々刊行会にて担当執筆

「全国組織救護会創立者中田騷郎」（昭和五十六年第一集）

「金谷民生寮創立者山城多三郎」（昭和五十六年第一集）

「静岡県民生委員協議会長大野虎雄」（昭和五十九年第四集）

「長岡湯の家創立者渡辺鋭」（昭和六十年第五集）

「静岡県社会福祉協議会初代会長小塩孫八」（昭和六十二年第七集）

「静岡県老人クラブ連合会初代会長小田重義」（平成元年第九集）

「駿豆学園創立者金刺平作」(平成二年第十集)

○、明日の福祉を考える会研究誌「福祉と人と」に執筆

「同胞援護会の歴史に学ぶもの」(昭和五十五年 第一号載)

「在宅福祉と社会福祉協議会」(昭和五十六年第二号載)

「在宅福祉論」(昭和六十年 第四集載)

○、静岡県ソーシャルワーカー協会研究誌「社会福祉in静岡」に執筆

「静岡県ソーシャルワーカー協会・その歩み」(平成元年 一九八九年報)

「社会福祉士及び介護福祉士法誕生の背景」(平成二年 一九九〇年報)

「高令者の住まいと相談・そのとりくみと展開」(平成三年 一九九一年報)

「児童のよりよい環境づくりをめざして・静岡県児童福祉の歩み」(平成四年 一九九二年報)

「戦争未亡人対策としての母子福祉と児童健全育成活動の課題」(平成五年 一九九三年報)

「日本社会福祉士学会の成果と福祉専門職育成の方向について」(平成六年 一九九四年報)

「福祉マンパワーの現任訓練と静岡福祉学会のあり方について」(平成八年 一九九六年報)

「福祉を利用者の視点でとりくむべき課題・介護保険適用と契約」(平成九年 一九九七年報)

「変革期に立つ福祉事業のあり方について」(平成十年 一九九八年報)

「明日のソーシャルワーカー育成の具体策について」(平成十一年 一九九九年報)

「ケアマネジメントと成年後見制度のとりくみと課題」(平成十二年 二〇〇〇年報)

「ソーシャルワーカーの専門性向上をめざして・二百回例会のエネルギーを活かす」(平成十三年 二〇〇一年版)

「コミュニティチェストの再評価を・共同募金を地域福祉に」(平成十四年 二〇〇二年版)

「これからの社会福祉法人のあり方を考える」(平成十五年二〇〇三年版)

「地域福祉への連帯を・日本ソーシャルワーカー協会静岡大会の準備に当たって」(平成十六年 二〇〇四年版)

○、静岡県社会福祉士会研究誌「社会福祉士静岡」に執筆

「二十一世紀の専門職をめざそう」(平成十四年 創刊号)

「利用者と共にソーシャルアクションを・社会福祉士の役割」(平成十五年 第二号)

「実践をとおり社会の信頼を・社会福祉士のこれから」(平成十六年 第三号)

「利用者の視点で翔ぼう・士会十周年を祝って」(平成十六年 十周年記念誌)

○、その他学会誌等に執筆

「介護保険実施にむけての社会活動実践・静岡県社会福祉士会のとらぐみ」

(平成十一年 日本社会福祉士会社会福祉学会研究誌 載)

「医療・保険・福祉の連携をめざして・静岡県健康福祉学会の実践」

(平成十二年 日本社会事業大学研究所紀要第三九号 載)

「ソーシャルワーカーのアイデンティティについて」

(日本ソーシャルワーカー協会研究誌ソーシャルワーカー4号)

「静岡県における福祉教育実践のあゆみ」(静岡県社会福祉協議会福祉教育実践活動報告 平成10年版)

○、身延山大学において執筆

・身延論叢（身延山大学仏教学会機関誌）

「生涯学習と福祉教育・福祉教育研究普及校のとりくみ」（二〇〇一年 第六号）

「在家信者の福祉実践・山城多三郎の金谷民生寮」（二〇〇二年 第七号）

「社会福祉における宗教の復権への一考察・小池政恩の実践に学ぶ」（二〇〇三年 第八号）

「福祉から仏教に期待するもの」（二〇〇四年 第九号）

・身延山大学仏教学部紀要

「宗教と福祉実践・在家信者中田驥郎の事蹟から」（二〇〇一年 創刊号）

「福祉実践としての福祉・長谷川明徳の事蹟から」（二〇〇二年 第二号）

「地域をささえた寺と農繁期託児所・仏教師永田泰嶺の実践に見る」（二〇〇三年 第三号）

「地域福祉と寺院への期待・生活共同体の中心に」（二〇〇四年 第四号）

「身延山大学における訪問介護員養成研修のとりくみ・その内容と実際」（二〇〇四年 第四号 松木本隆、一之

瀬美千子と共同執筆）